

1. 自己評価及び外部評価結果

作成日 平成29年 3月 1日

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	4690101219
法人名	R i g h t-H a n d株式会社
事業所名	認知症の人と暮らす家 五福
所在地	鹿児島県鹿児島市宇宿9丁目11番22号 電話 099-264-5291
自己評価作成日	平成29年 1月31日

※事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	http://www.kaigokensaku.jp/46/index.php
-------------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	特定非営利活動法人 福祉21かごしま
所在地	鹿児島市真砂町54番15号
訪問調査日	平成29年2月24日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

五福の理念「長寿、健康、徳、財、天命」を基に、入居者が五福で、自宅で暮らされてたように普通の暮らしを続けられる様に、キャストが黒子となり、入居者の生活を支援しております。常にこの理念に沿って、季節の行事はもちろん、個人毎の行事・お祝いごと、地域との関わり、全てにおいて、一人一人の入居者/ご家族と、今までどのように暮らしていたかと一緒に考え、そしてチームで考え、企画し、実践しております。その中で、関わり方の振り返りはもちろん、認知症ケアの専門施設として、認知症の進捗の対比など、専門的アプローチも行っております。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

○ホームは近隣に小学校や多くの商店がある静かな住宅街に位置し、庭の木々は手入れが行き届き、日当たりが良く日光浴や散歩に適し、天候の良い日には庭のテーブルやテラスで、利用者と職員がお茶や会話を楽めるようになっている。日々のケアに際して炊事・洗濯・掃除などを利用者が主体的に行えることに重点を置いて、出来るだけ家庭に近い状況で暮らせるよう支援している。職員はイン・カムシステムを活用して連携を図り、利用者の見守りを行っている。

○町内会に加入して、積極的に地域の清掃活動や夏祭り・運動会・敬老会・文化祭・餅つきなどの行事に参加し、日頃より散歩や買い物で出会う地域の方と挨拶や会話を交わしている。また、職場研修や短大生のボランティアの受入れのほか、お花を持ってホームを訪れる近隣の方々もおられ、これらの交流も利用者の楽しみになっている。地域の消防団には職員も1名参加して活動を行っている。

○運営推進会議やご家族へのお便りは、利用者の暮らしぶりや様々な行事への参加の様子などを、動画や写真を活用してわかりやすく報告し、多くの意見や提案が頂けるように工夫している。また、ケアプランやケース記録、利用者に関する申し送りや受診の記録などは、わかりやすく様式を工夫し、パソコンや携帯を活用して全職員がタイムリーに情報共有できる体制を築いている。

○食事の献立や利用者個々の趣味の継続、また、利用者の外出希望などを声かけにも工夫しながら気持ちをくみ取ることにも主眼を置いて、ご家族とも十分に話し合っ、利用者個々のペースに合わせた、思いに沿った適切な支援となるように努力を重ねている。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I. 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員はその理念を共有して実践につなげている	五福独自の理念を掲げており、理念をチーム全員で共有し、実践している。	ホーム独自の理念を掲げ、利用者がこれまでの生活と同じように過ごせるように、また、利用者のご家族に寄り添うケアとなるように日々支援している。毎月の職員カンファレンスや日々の申し送り、ミニカンファレンス、ケアを通じて理念の意義を振り返り、理解を深めるように努めている。利用者の入所当日や新入職員の入職日にも理念の説明を行っている。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	町内会に加入し、地域で開催される行事に参加するなど、交流を深めている。日常的には、近隣のお店での買い物やお米の配達、美容室の利用などで、地域とのつながりを持つようになっている。	日常的に散歩や買い物の際には、地域の方へのあいさつや声かけなどにより積極的に交流している。町内会にも加入して、清掃活動や夏祭り・運動会・敬老会・文化祭・餅つき、しめ縄や門松作りなど、多くの行事に参加している。また、職場研修や短大生のボランティアの受入れのほか、近隣の方々の来訪もあり、利用者はこれらの機会を楽しみにしている。	
3		○事業所の力を生かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて生かしている。	地域の方々に理解していただくために、今後は認知症サポーター講座を行う予定。		
4	3	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	2か月に1回、運営推進会議を開催し、五福での取り組みや現況を、写真や作成したDVDをお見せしながら報告している。参加者の皆様と意見交換を行いながら、サービスの向上に努めている。	利用者や家族・地域住民・民生委員・地域包括支援センターの職員等関係者が参加して、会議は定期的で開催されている。利用者及びホームの現況、地域行事への参加状況、事故・苦情などの報告のほか、毎回の設定テーマに基づく意見交換も行われている。避難訓練も同時に実施することもあり、自治会長や民生委員の意見や提案も得られている。それらを職員で共有して、具体的にサービスの質向上に役立っている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連携を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる。	事故報告はもちろん、地域密着型サービス事業所の公募プレゼンなど、取り組み内容を積極的に伝え、協力関係を築いている。	市担当窓口や包括支援センターとは、事務手続き等での訪問のほか、メールや電話でも利用者の暮らしぶりやニーズをお伝えしている。また、事故報告並びに認定手続きや苦情内容等の相談なども行い、意見や提案を頂くなど必要な情報交換や連携は図られている。介護相談員の受入れも定期的に行い、得られた意見や情報もサービス向上に活かしている。	
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。	施錠は、夜間のみ行い、それ以外は行っていない。身体拘束については、委員会を設置している。職員全員が拘束しないケアについて理解し、入居者がこれまでの暮らしの継続が出来るように、取り組んでいる	身体拘束については日々のケアやミニカンファレンスで繰り返し話し合い理解を深め、特に言葉をさえぎることや気持ちの押さえつけ・行動制限の防止については十分留意し、職員は連携して支援に努めている。また、利用者個々の気持ちにも配慮しながら行動パターンも把握して、危険防止の対応方法を職員が共有できるようにしている。日中はホームの玄関等の施錠も行われていない。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	入居者へのケアについては、ミニカンファレンスにて検討し、タイムリーに解決している。虐待防止のために、キャスト同士で話し合い、ストレスを溜めないよう、コミュニケーションをこまめにとっている。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。	成年後見制度を利用されている入居者がいるため、密にやり取りをし、連携をとっている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
9		<p>○契約に関する説明と納得</p> <p>契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。</p>	<p>契約時は、五福の考え方や取り組みをお話しした上で、重要事項説明書に基づき丁寧に説明し、理解、納得した上で契約を行っている。</p>	/	
10	6	<p>○運営に関する利用者、家族等意見の反映</p> <p>利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。</p>	<p>ご家族が面会にいらした時に、意見や要望をいただいている。運営推進会議や、毎月のお便り発送時など、意見や要望を伝えやすい環境や機会作りの声掛けを行っている。</p>	<p>利用者の思いや意見は日常の会話や所作の見守りなどで、ご家族の意見や要望等は運営推進会議での意見交換のほか、面会時やホームの行事の際の対話、メールや電話を通じて把握に努めている。意見や苦情については日々の話し合い等で職員が共有し、必要な対応はその都度話し合い、ご家族にも速やかにメールや電話、写真やDVDも活用した毎月のお便りなどで報告している。</p>	
11	7	<p>○運営に関する職員意見の反映</p> <p>代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。</p>	<p>代表者や管理者はキャストが相談をしやすい様、対面での相談又はメールを使用した相談を受け付けている。また、面談を定期的に行い意見を聞く機会を設け、反映に努めている。</p>	<p>管理者自身が日常的に話しやすい雰囲気作りに努め、日ごろから職員とのコミュニケーションを大切にしている。日常の申し送りやケアの中、また、毎月のカンファレンス時の話し合いのほか、必要に応じてメールや個別面談の場も設けて意見や提案の把握に努め、具体的に業務や職場環境の改善、サービス向上につなげるよう取り組んでいる。</p>	
12		<p>○就業環境の整備</p> <p>代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。</p>	<p>定期的に面談を行い、個々人の状況の把握と反映に努めている。また、様々な資格に対し、手当として反映させ、向上心の維持に努めている。</p>	/	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
13		<p>○職員を育てる取り組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>カンファレンス時に勉強会を行ったり、積極的に外部の研修に参加している。また、研修後には報告書を作成し、全キャストが閲覧することで、情報を共有できるようにしている。</p>		
14		<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>県外のお施設との交流を行い、キャストの意識・技術の向上に努めている。また、各種研修等で交流を深め、情報交換を行っている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	入居に関する相談があった際にはご本人に面会して話をお聞きし、本人の嗜好や歴史の把握に努めている。入居されてからは、心身の状態や現在の想いを話していただけるような声かけや雰囲気を作り、本人の想いを受け止める努力をしている。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	相談・見学のため訪問された際、ご家族の想いや状況、不安などに耳を傾けるようにしている。また、カフェスペースを利用し、リラックスした状況でお話しを伺うよう努めている。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	ご本人やご家族の意向を聞き、思いや状況などを確認することで、可能な限り柔軟な対応を行っている。		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	日常生活の中で、入居者と相談しながら、物事をすすめるように心掛けている。(料理の方法や行事の風習など)		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を介護される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	病院受診やお出かけの際には出来るだけご家族様に支援して頂いている。誕生日、地域の行事など、まずは入居者がどうご家族様と過ごされていたかを確認し、その後の継続を普通の暮らしとして提案支援している。その後参加の呼びかけをおこなっている。また、ご本人様の状態や気がかりなことなどは直ぐにご家族様と連絡をとるようにしている。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	入居時に利用者やご家族に入居前シートに生活歴や環境などを事前に聞き取り記録を行っています。また、ご家族様や知人などの面会時の対話からも把握に努めて支援しています。また、ご家族や知人の面会時はカフェスペースやお部屋でプライベートな空間で過ごせるように配慮をしています。馴染みの地域での商店や美容室、医療機関、温泉や朝市バドも同行しています。電話や、手紙の取次なども支援している。	利用開始時にご家族や利用者、それまでの生活歴や本人を取り巻く人間関係などを聞き取り、入所前シートに記録して支援に活用している。また、ご家族の面会時の対話からも把握に努め、馴染みの美容室や商店、墓参り、朝市や温泉、カラオケ、医療機関などへの同行のほか、読書や手芸等の個々の趣味についても可能な限り支援している。電話や手紙の取り次ぎと共に、家族や友人・知人の来訪時には居室やカフェ・スペース等でゆっくりと過ごせるように配慮している。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	入居者やキャスト、ご家族が皆で過ごす時間を大切にしています。出来るだけ入居者同士で声掛けして関わり合い孤立しないように支え合っているように支援している。		
22		○関係を断ち切らない取り組み サービス利用〈契約〉が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	必要とされる入居者、ご家族様に対して継続的に関わりを持って相談など快く応じ支援しています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	日々の生活の中で日常会話、表情などを通じて本人の思いや意思を感じ取り取るよう努めています。申送りや日々の細かい記録を常に共有化するためにパソコン、携帯を利用し図っている。	利用開始時の利用者本人や家族からの聞き取り情報をはじめとして、日々の暮らしの中で利用者の思いや気持ちの把握に努め、申し送りやきめ細かく記録したパソコンデータ、携帯の活用で共有を図っている。ご家族とも電話やメールも活用しながら相談し、管理者及び職員で十分に話し合いながら利用者本位の最良の支援を目指して努力を重ねている。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	入居前に事前に面会し、本人や家族にこれまでの生活歴をお聞きし入居前シートに記憶をたどり書いていただく。サービス利用の経過を本人や家族、サービス事業者などから情報を得られるよう努めている。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	毎日のバイタルチェックや、経過記録をもとに1人ひとりの生活リズムを把握理解するように努めキャスト間で常に情報を共有している。		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	ご本人、ご家族からの意向や希望を聞き取り、主治医や看護からの情報を始め、カンファレンスの結果など利用者の変化の都度介護計画を都度作成している。	介護計画は本人・家族からの意向や希望を聞き取り、主治医や看護師からの情報をはじめ、利用者の変化の都度職員が記録する観察結果や意見・アイデアなどのメモ書き、職員との意見交換等を反映させて作成している。ケアの経過はパソコンの申し送り欄やケース記録に詳しく記述され、それを基に介護計画の見直し修正がタイムリーに行われている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	日々の入居者の様子やケアの実践は軽か記録に残し、キャスト間で情報を共有しながら、その都度ミニカンファレンスを行い介護計画の見直しに活かすようにしている。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々にも生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	キャストもその時々にも起きるニーズに対して応えられる様に、人員配置や勤務日、時間の変更をしたり、柔軟かつ即座に対応できるように支援やサービスに繋げている。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らし方を支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	町内会への加入参加、医療機関との連携を保ち、直ぐに相談でき入居者様が安全に健康に暮らせるように支援をしている。		
30	11	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	受診は、本人及びご家族様等の希望を大切に基本とし、利用前の受診の経過を把握して、本人様ご家族様が希望する医療機関を受診できるように支援しています。受診はご家族様付き添いが基本ですが、必要に応じて五福で支援している。医師、家族との情報交換は十分に行っています。受診の結果はキャストが常に把握できるように申送りを通じて共有している。	利用者一人ひとりの利用前の受診状況は十分把握し、本人・家族が希望する医療機関を受診できるように支援している。受診は家族同伴を基本としているが、必要時はホームで支援している。かかりつけ医及びご家族との話し合いや情報交換も十分になされている。また、週1回は訪問看護師の来訪もあり、これらの経過はパソコンの申し送り欄やケース記録に詳しく記載され、職員がタイムリーに共有して必要な支援を行っている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		<p>○看護職員との協働</p> <p>介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している</p>	週1回、看護師が来て入居者様の情報をお伝えし、適切な受診や看護を受けられるように支援している。		
32		<p>○入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。または、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。</p>	退院前、入院中も医療機関関係者と情報交換を常に行い、退院後のケアの相談、今後の対応について密に情報を提供して頂き役立てている。		
33	12	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人や家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる</p>	入居契約時に、重度化や終末期に向けた方針をご家族様にご説明をしています。今回、終末期の入居者様について看取りケアを行い、ご家族様が不安に思っていることを聞く場を設けて医療機関との連携が取れる様に関係者と共にチームで取り組んでいる。	重度化や終末期のケアについては、「重度化や看取りに関する指針」で入居時に利用者と家族に十分に説明を行って同意を得ている。また、その後も様々な変化の都度ご家族と十分に話し合い、その意向を大切に関係者で医師とも連携を図り、希望に沿った対応が取れるよう努めている。	
34		<p>○急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、すべての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている</p>	緊急時対応シートを作成しています。避難訓練時に応急処置の方法、AED取り扱いについて研修を定期的に関催実施している。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
35	13	<p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている</p>	<p>地域の消防団に、キャスト1人を加入させ、また年2回、運営推進会議時を利用して消防署、地区消防団、と共に、町内会長、民生委員さんも参加して定期的に夜間も想定した避難訓練、通報訓練を実施している。消防職によるAEDの使い方講習カンファレンス時には、救急対応の研修も実施しキャスト全員が退所法を身につけている。</p>	<p>年2回は運営推進会議の際に、夜間も含む火災を想定した避難訓練や消火訓練、通報訓練を実施している。訓練には消防署、地域の消防団、民生委員や町内会長にも参加して頂いている。その際の消防署職員による救命講習や講話、また、カンファレンス時の緊急時対応の研修等で職員の理解を深めている。災害時に備えたスプリンクラーや自動通報装置等の設置や、食料や飲料水の備蓄も問題はない状況である。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	個人に関する事は、他の入居者が居ない所で行っています。トイレ、お風呂、居室入室等プライバシーに配慮し、その人にふさわしい声掛けをするように気を付けている。(声量、トーン、内容)	利用者の人格を尊重し、居室への入室、排泄時・入浴時等の日常のケアに際して尊厳やプライドを損ねるような言葉かけや対応を行わないように、ミニカンファレンス等を通じて方法を共有して実践に取り組んでいる。利用者の基本情報は正確に聞き取り、日常の観察は細やかに、利用者の人格や感性を大切に、利用者のペースに合わせた対応を丁寧に行っている。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	入浴や散歩などはできるだけ利用者様の希望に沿って行動できるようにしているが、職員の勤務状況により困難な場合がある。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	食事や入浴なども時間や日にちを特別に設けることはせず、皆様のご希望のお時間で暮らしをしていただけるようにしている。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるよう支援している	お洋服や身だしなみ用品(お化粧品等)も、その方の馴染みの物や、好みの物を使用されている。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	それぞれの好みもお聴きしながら、料理の手順を踏まえ、基本入居者様がお料理する。見守りや必要に応じて、職員も一緒に行っている。	献立に利用者の好みも反映させながら、買い物や調理、食卓の準備や後片づけなども基本は利用者主体で行ってもらい、会話しながら食事している。また、おやつは手作りのものを提供し、季節の行事食や敬老会・クリスマス会・誕生会等の食事、花見の手作り弁当など多くの工夫を行って利用者の楽しみにつなげている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一 日を通じて確保できるよう、一人ひとり の状態や力、習慣に応じた支援をしてい る	1人ひとりの食事・水分量を記 録し、職員が情報共有してい る。個々の食事量・嚥下・咀嚼 状態に合わせた食事形態で提供 している。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の臭いや汚れが生じないよう、 毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の 力に応じた口腔ケアをしている	入居者様それぞれの状態に応じ て口腔ケアを行っている。基 本、ご本人様で口腔ケアをされ るが、必要に応じて支援を行っ ている。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、 一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣 を活かして、トイレでの排泄や排泄の自 立に向けた支援を行っている	排泄時の不安やプライバシーに 配慮した声掛けやフォローで自 立に向けた支援を行っている。 リハビリパンツや尿取りパット 着用であっても、排泄記録等 を利用して排泄サイクルに合わせ たトイレ誘導を行っている。	利用者の見守りや排泄チェック表の活用で 利用者個々のペースの把握に努め、本人の 羞恥心や不安を軽減できるように声かけや 誘導にも配慮しながら可能な限りトイレで 排泄できるように支援している。これらの 工夫はケアプランにも反映して、排泄用品 の選択等、個々の利用者の習慣や生活のリ ズム、身体機能にも配慮した対応になるよ うに取り組んでいる。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲 食物の工夫や運動への働きかけ等、個々 に応じた予防に取り組んでいる	1人ひとりに排泄記録を付けて おり、状態確認をして看護師や 病院へ相談をして対策をしてい る。個々の状態に合わせて、服 薬や水分補給を増やす、ヤクル トを毎日飲む等行っている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援している	入浴は、曜日や時間帯を定めず、ご本人様が入りたい時には入浴できるようにしている。	利用者の健康状態に配慮して足浴や清拭も含めながら、時間帯や好みについても利用者の希望をくみ取り、本人のペースでゆっくりとした気分で入浴を楽しめるようにしている。1階の浴室では庭を眺めながら、仲の良い人や職員とも一緒に、温泉気分や季節を感じながら入浴できている。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	時間を定めず、ご本人の休みたい時に休んで頂くようにしている。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	個人ファイルにてそれぞれの薬情を管理し、薬への変更や注意点があった場合には必ず申し送りを行っている。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活暦や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	1人ひとりの以前の暮らしや習慣を把握し、可能な限り本人様の生活を大切にしている。洗濯・料理・炊事等も得意分野で役割を担って頂き、沢山の方がチャレンジできるように声かけや環境づくりをしている。		
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるように支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。	その日の希望により、外出やお買い物に出る機会を設けている。ご本人様の馴染みの場所や行事・イベント参加についてもお聴きし、ご家族のご協力をいただきながら外出する企画も行っている。	外出に関しての利用者の好みや希望は日常の会話を通じて把握に努めている。利用者の健康状態や天候を見ながら、本人の希望に沿って散歩や買い物、美容室、ドライブ、墓参りなどに出かけている。また、季節によって地域の行事やイベント、季節ごとの花見、朝市、温泉、ゴルフ練習や外食など、可能な限り外出を楽しんで頂けるように支援している。ご家族の援助のもとでの自宅での外泊や外食も勧めている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		<p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している</p>	<p>お金の管理方法についても、ご本人様・ご家族様の意見をお聴きしている。お買い物に出た際は、ご自分のお財布を持ち、お支払いまでして頂くようにしている。</p>		
51		<p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している</p>	<p>毎年の年賀状や季節の行事のお葉書（母の日のお礼等）も作成し、手書きのメッセージや日常生活のお写真も写真へおさめている。</p>		
52	19	<p>○居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱を招くような刺激（音、光、色、広さ、湿度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>玄関先やリビングへお庭の草花を摘んで飾ったり、各窓から見える木々や観葉植物でも季節感を感じる事が出来ている。生活に支障のある大きな音や話し声がないよう、職員同士はインカムを駆使してケアを行っている。</p>	<p>季節の花や観葉植物が飾られたリビングは静かな環境で、畳の間やソファもあり、空調や清潔にも十分に配慮されている。近隣の方々やご家族・知人・友人の来訪時にも活用できる広い喫茶スペースのほか、多種類の樹木がある庭に面してテラスやテーブルもあり、利用者は思い思いの場所でくつろげるように工夫されている。また、1階の浴室は温泉風の木造で、庭を眺めながら季節を感じられるようになっている。</p>	
53		<p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている</p>	<p>お好きな時間に仲の良い入居者様とお茶をして談笑したりお一人でのんびり過ごしたりできるように、カフェやリビング、畳スペースなどをご自由に使う事ができるようにしている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	ご本人様、ご家族様へこれまでの暮らしをお聴きし、これまで使用されていた家具や物、馴染みのものを使用されている。家具の配置等もご本人様、ご家族様の意向により設置していただいている。	ホームで準備したものはエアコンのみの居室は、利用者にご家族にテレビや冷蔵庫・家具などのほか、馴染みの人形・写真・日用品等を自由に持ち込んで頂いている。日常がこれまでの家庭生活と同様に、本人のペースで過ごせるように、ベッドや家具の配置も含めて本人やご家族の希望に沿うよう支援している。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	ホーム内のエレベーターや内階段の設置により、その人の状況に応じて1・2階それぞれのユニットを行き来できる。各廊下や階段にも手の届く低めの高さの手すりが設置されている。		

V アウトカム項目

56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	○	1 ほぼ全ての利用者の
			2 利用者の2/3くらいの
			3 利用者の1/3くらいの
			4 ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○	1 毎日ある
			2 数日に1回程度ある
			3 たまにある
			4 ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿が見られている。 (参考項目：36, 37)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない

61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により安心して暮らせている。 (参考項目：28)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1 ほぼ全ての家族と
			2 家族の2/3くらいと
			3 家族の1/3くらいと
			4 ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1 ほぼ毎日のように
			2 数日に1回程度ある
			3 たまに
			4 ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)	○	1 大いに増えている
			2 少しずつ増えている
			3 あまり増えていない
			4 全くいない

66	職員は、生き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)	○	1 ほぼ全ての職員が
			2 職員の2/3くらいが
			3 職員の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。		1 ほぼ全ての家族等が
		○	2 家族等の2/3くらいが
			3 家族等の1/3くらいが
			4 ほとんどいない

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I. 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員はその理念を共有して実践につなげている	五福独自の理念を掲げていて、全キャストが理念を共有し、五福の考えに沿って実践している。		
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	地域の行事への参加や買い物・近所の散歩など日常的に行っており地域と交流している。		
3		○事業所の力を生かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて生かしている。	運営推進会議を活かして、委員の方々へ認知症のご理解や五福の取り組みを報告している。		
4	3	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	2ヶ月に1回、運営推進会議を開催している。その中で、取り組み状況、事例や事故・苦情などすべてオープンにして話し合い、ご意見頂きサービスへ繋げている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連携を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる。	鹿児島市から介護相談員の受け入れをして、相談員を通して入居者さんの希望や意見を反映させている。又、五福の取り組みもお伝えしている。		
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。	委員会が中心となって、身体拘束をしないケアに取り組んでいる。又、身体拘束の具体的な事例や例外3原則についても把握して取り組んでいる。		
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	入居者さんへの声かけやケアについてカンファレンスで振り返りの機会を設けている。日常的にも、互いのケアについて声掛けやミニカンファレンスを活用して検討している。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。	勉強会などの学びの機会は持っていないが、成年後見制度を利用されている入居者さんがおり、担当の司法書士の方と定期的に報告相談している。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
9		<p>○契約に関する説明と納得</p> <p>契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。</p>	<p>実際に五福へ見学に来て頂き、入居前の相談の段階から、五福の取り組みや考えを説明している。その上で、入居に至った際は、入居契約書について納得頂けるようにご説明している。</p>		
10	6	<p>○運営に関する利用者、家族等意見の反映</p> <p>利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。</p>	<p>意見箱は設置していないが、ご家族が面会の際にはキャストから積極的に関わり意見や要望を尋ねている。ご意見頂いた際には、代表と相談して運営に反映させている。</p>		
11	7	<p>○運営に関する職員意見の反映</p> <p>代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。</p>	<p>毎月全体カンファレンスでの話し合いの場や日常的にも相談や提案をしている。又、メールも積極的に活用している。</p>		
12		<p>○就業環境の整備</p> <p>代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。</p>	<p>代表者は、個々の勤務状況や取り組み・意欲などを総合的に把握して賞与などに反映する仕組みを取っている。又、各々の向上心に沿った支援もしている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
13		<p>○職員を育てる取り組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>研修への参加の機会を作り、積極的にバックアップを行なっています。また、法人内に限らず県外の他事業所への研修も行なっています。</p>		
14		<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>県外の他施設への研修や県外での勉強会への参加を行ない、キャストの意識・技術の向上に努めている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	入居に関するご相談があった際には、五福見学をして頂きご説明をしている。その上で、ご本人様から話をお聞きしたり、入居されてからは、声掛けや関わりに努め、信頼関係の構築に努めている。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	相談と見学に訪問された際に、ご家族様から現状やお困りごとなどお聞きしている。また、入居前の段階から随時相談を受け付けている。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	ご本人様やご家族の意向を聞き、思いや状況などを確認し、必要な支援を受けることができるように対応している。		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	暮らしの主役は入居者様であるということをキャストは念頭に持ち、黒子に徹したケアに取り組んでいる。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を介護される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	入居者様の日常の様子を電話やメールなどで報告したり、誕生日や年末年始などの行事に協力して頂くなど、ご本人様を支えていく関係を築けている。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	お墓参りやカラオケなどご本人様にお声掛けをし、大切にしてきた習慣を行っている。		
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	散歩や買い物、料理や洗濯など利用者に共同でして頂くことで孤立しない関係づくりについて工夫している。		
22		○関係を断ち切らない取り組み サービス利用〈契約〉が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	病院や他の施設に他の入居者様と面会に行ったり、医療機関・ご家族様とも密に連携を行っている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	入居者様との会話の中で希望や意向についてお聞きし、実現に努めている。困難な場合は、ご本人様と話しをし、その他の方法を検討している。		
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	入居前シートやご家族に生活歴や生活環境などの情報をお聞きして把握している。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	一日の過ごし方や心身状態の変化を記録に残したり、その都度インカムで報告を行い、キャスト間で把握している。		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	キャスト全員で意見交換を行ないアイデアや意見を反映した、分かりやすくその人の為だけの介護計画を作成している。毎月のカンファレンス及び日々の打ち合わせの中で十分に話し合いを行ない計画や訂正している。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
27		<p>○個別の記録と実践への反映</p> <p>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている</p>	<p>情報を電子入力し、メールを利用し、出勤でないキャストにも情報を伝え共有し、実践や介護計画の見直しに活かしている。</p>		
28		<p>○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化</p> <p>本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる</p>	<p>本人やかご家族へヒアリングを行ない、その都度、ニーズの把握をし、ニーズに応えられるようサービスの向上及び計画書に反映している。</p>		
29		<p>○地域資源との協働</p> <p>一人ひとりの暮らし方を支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している</p>	<p>町内会や愛護会の行事に積極的に参加し、入居者一人ひとりが心身の力を発揮できるよう支援している。</p>		
30	11	<p>○かかりつけ医の受診支援</p> <p>受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p>	<p>ご本人やご家族様の希望を確認し協力医療機関や、かかりつけ医と連携をとっている。また、要望があれば、キャスト付き添いでの病院受診をしている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		<p>○看護職員との協働</p> <p>介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している</p>	週に1回、看護師が来ています。その際に利用者の状態や情報を伝え、適切な受診や看護を受けられるように支援を行っている。		
32		<p>○入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。または、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。</p>	入院時、入居者様の情報を提供し、医療がスムーズに行えるように努めている。また、病院関係者・家族と連携を取り退院支援にも早い段階から関わるようにしている。		
33	12	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人や家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる</p>	契約時に「重度化や看取りに関する指針」を基に五福で対応できる支援について説明し、同意を得ている。また、ご家族や連携医療機関との連携を行い、支援を行っています。		
34		<p>○急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、すべての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている</p>	緊急時の対応や応急処置のマニュアルを作成し、いつでも対応できるようにしている。また、研修でAEDの使い方と心肺蘇生の指導を受けている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	消防訓練を実施し災害時の避難誘導方法や避難経路を話し合い行っている。運営推進会議で民生委員や町内会長、地域の消防団員の方に参加して頂き、訓練を見て、指導など頂いている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	排泄の件を尋ねる際は周りの配慮も避けるため、ご本人様のお部屋でお伝えしている。		
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	利用者の話を傾聴するとともに自己決定の尊重に努め、生活習慣や日常を利用者の意思で決定・実行出来るように支援している。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	日々の調理や、掃除、洗濯など全て職員がするのではなく、利用者が出来ない所を支援している。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるよう支援している	洋服を選ぶ時も利用者を選んで頂き、利用者が出来ない所を職員が支援している。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	昼食は職員も一緒に食べて、食べてすぐに食器を片付けるのではなく、お話しされる方は数分程お話しをされ、その後に食器を炊事場で利用者に洗い物が出来るように支援・声掛けをしている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		<p>○栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている</p>	<p>食事は、その日に利用者が食べたい物を利用者で作っている。メニューが被らない様に食事前に写真を撮っている。</p>		
42		<p>○口腔内の清潔保持</p> <p>口の中の臭いや汚れが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている</p>	<p>毎食後、ご自分でされない方にお声掛けをしている。口腔ケアがお一人で出来ない時には出来ない事を支援している。</p>		
43	16	<p>○排泄の自立支援</p> <p>排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている</p>	<p>ご自分でいかれない方に排泄周期に合わせて声掛けをしている。利用者の仕草を見て、トイレに行きたいというサインを読み取るように支援をしている。</p>		
44		<p>○便秘の予防と対応</p> <p>便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる</p>	<p>無排便日数を把握して、水分を多くとってもらうよう声掛けをしている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援している	特に入浴日を設定しておらず、利用者が入りたい日を入浴日として入浴されている。		
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	各利用者の体調の変化に合わせて、自室での臥床を促している。食事やおやつの声掛けも本人様が行きたくない時は無理にお連れしないように支援している。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	職員が全て準備するのではなく、利用者へ薬の説明をして、利用者ご自身でご自分の内服の準備ができるように支援している。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活暦や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	利用者の生活歴、仕事の内容にあった事で本人様が気分を害することなく、食事を作る事や、掃除をしている。		
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるように支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。	日頃利用者が行きたいと言われる所にデイリーに行ける様に支援している。買い物だけでなく、お墓参りなどもご家族様や地域の方と協力をして取り組んでいる。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		<p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している</p>	<p>食材の買い物や日用品の買い物で利用者と外出をする際に商品を選ぶ事・商品の精算は基本的に利用者が出来る様に支援している。</p>		
51		<p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している</p>	<p>ご本人様より要望があった際には電話をお渡しして、ご自分でかけられるように支援をしている。</p>		
52	19	<p>○居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱を招くような刺激（音、光、色、広さ、湿度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>キッチン周りや庭の畑に季節ものの野菜は草花を植え、季節感を味わえるようしている。</p>		
53		<p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている</p>	<p>カフェスペースでお茶や、畳スペースを活用し、利用者同士がコミュニケーションをとれるよう支援している。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	居室の家具やご飯茶碗、汁茶碗、お箸はご自宅で使っていたなじみの深い物をご家族へ依頼して使って貰っている。		
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	廊下や、トイレ、ふろ場に手すりを設置し、利用者が安心して移動できるよう支援をしている。		

V アウトカム項目

56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)		1 ほぼ全ての利用者の
		○	2 利用者の2/3くらいの
			3 利用者の1/3くらいの
			4 ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○	1 毎日ある
			2 数日に1回程度ある
			3 たまにある
			4 ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿が見られている。 (参考項目：36, 37)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない

61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により安心して暮らせている。 (参考項目：28)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1 ほぼ全ての家族と
			2 家族の2/3くらいと
			3 家族の1/3くらいと
			4 ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1 ほぼ毎日のように
			2 数日に1回程度ある
			3 たまに
			4 ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)	○	1 大いに増えている
			2 少しずつ増えている
			3 あまり増えていない
			4 全くいない

66	職員は、生き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)		1 ほぼ全ての職員が
		○	2 職員の2/3くらいが
			3 職員の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。		1 ほぼ全ての家族等が
		○	2 家族等の2/3くらいが
			3 家族等の1/3くらいが
			4 ほとんどいない